



2020年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月13日

上場会社名 株式会社AVANTIA
 コード番号 8904 URL <https://avantia-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 2020年7月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 沢田 康成
 (氏名) 宮崎 卓也
 TEL 052-859-0034

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	24,518	2.6	74		111	70.6	38	87.4
2019年8月期第3四半期	23,894	6.4	219	74.9	379	63.7	301	56.0

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 49百万円 (80.6%) 2019年8月期第3四半期 254百万円 (62.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	2.61	
2019年8月期第3四半期	20.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	47,127	24,120	51.2
2019年8月期	41,746	24,694	59.2

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 24,120百万円 2019年8月期 24,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		19.00		19.00	38.00
2020年8月期		19.00			
2020年8月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,789	8.6	1,675	12.2	1,884	9.2	1,263	1.0	86.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期3Q	14,884,300 株	2019年8月期	14,884,300 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年8月期3Q	421,555 株	2019年8月期	303,555 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年8月期3Q	14,576,809 株	2019年8月期3Q	14,580,745 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
3. (参考) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年10月の消費増税に加え、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、経済活動の制約による個人消費の悪化や企業収益の減少など極めて厳しい状況にあります。

当不動産業界におきましては、住宅用地として適した地域の地価の上昇や他県からの同業他社の参入等、用地の仕入、住宅販売の競争の激化、建築コストの上昇や建設労働者不足、新設住宅着工戸数は減少傾向で推移するなど事業環境の厳しさは強まりつつあります。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により建築資材や住宅設備機器の一部欠品や納期遅延等によるお客様への引渡しの影響や、緊急事態宣言により営業販売活動に一定の制約を受けましたが、当社としましては影響の最小化に向けて対応を進めてまいりました。

このような事業環境ではありますが、前連結会計年度より「美しいデザイン」「妥協を許さない品質」「万全のアフターケア」の3つの価値をお客様に提供することをコンセプトとした戸建住宅の新ブランド「AVANTIA」を立ち上げ、テレビCM等の広告宣伝活動をはじめとするブランド構築、認知活動に努めてまいりました。さらに今年の1月から社名もブランド名と同様の「株式会社AVANTIA」に変更しており、より一層のブランド浸透を図るべく邁進しております。また、当社グループが目指す姿として「お客様・地域・社会に寄り添い、あらゆる不動産ニーズを解決する企業集団となる」という長期ビジョンを掲げ、ビジョンの達成に向けては、戸建住宅事業をコア事業と位置付けつつ、請負住宅事業や周辺事業である不動産仲介事業、リフォーム事業、リノベーションなど不動産に関する様々な事業を展開し、「総合不動産サービス企業」を目指しております。また、販売用地の取得も、同業他社との仕入競争の激化は継続しているものの、厳選した物件を積極的に購入していくことで、将来の受注獲得に向けた販売物件の確保に注力してまいりました。

当第3四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大が国内外における経済活動に与える影響が次第に顕在化し、当社におきましても4月7日の緊急事態宣言発令後の一定期間、移動や外出の自粛に伴い、各事業セグメントにおける受注獲得は急激に落ち込むこととなりました。しかしながら、Web上での問い合わせ対応やリモート会議ツール等を活用した営業活動の展開等、新たな生活様式への対応を着実に進め、影響は徐々に収束し、緊急事態宣言解除後の足元では、営業活動及び受注は平常時並みに回復しております。特に主力の戸建住宅事業では、建売住宅の販売・引渡しが本格化しており、商談も活性化、期首受注残の不足並びに期中の受注苦戦の影響を取り戻しつつあり、通期業績目標達成に向けて邁進しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は245億18百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失は74百万円（前年同期は2億19百万円の営業利益）、経常利益は1億11百万円（前年同期比70.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円（前年同期比87.4%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(戸建住宅事業)

当社グループのコア事業である戸建住宅事業は、今後の成長戦略として「エリア戦略」と「ブランド戦略」を積極的に推し進めていきます。「エリア戦略」としましては、支店展開による地域密着型の営業活動の強みを活かしながら、コアエリアである愛知県のさらなる深耕と愛知県以外のエリアでの収益力強化、事業拡大を推し進めてまいります。また、「ブランド戦略」では、戸建住宅の「AVANTIA」ブランドの認知を進め、「美しいデザイン」「妥協を許さない品質」「万全のアフターケア」を兼ね備えた同業他社の追随を許さない圧倒的な強さを持った住宅商品を目指し、持続的な進化を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、当期首は前期首に比べ受注残が少ない状況下で開始いたしました。それに加えて、消費増税や新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動の制約の影響により、顧客の住宅所有マインドは低下するなど戸建住宅の受注獲得に苦戦しました。しかしながら、足元の受注は堅調に回復しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は190億69百万円（前年同期比0.3%増）、営業損失は55百万円（前年同期は54百万円の営業利益）となりました。

(マンション事業)

マンション事業は、当社子会社であるサンヨーベストホーム株式会社がファミリー層をメインターゲットに、名古屋市内を中心に生活利便性の高い立地に厳選したマンションブランド「サンクレーア」を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度に販売・引渡を予定しておりました「サンクレーア上社」の工事が遅延し、第1四半期連結会計期間より販売を開始しました。また、「サンクレーア桜通泉」につきましても2月より販売を開始しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、マンション事業も戸建住宅事業と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受注活動が制約された影響もあり受注獲得に苦戦しました。足元の受注は戸建住宅事業と同様に堅調に回復しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は6億円（前年同期比68.1%増）、営業損失は98百万円（前年同期は1億6百万円の営業損失）となりました。

(一般請負工事事業)

一般請負工事事業は、当社子会社であるジェイテクノ株式会社、株式会社巨勢工務店、株式会社宇戸平工務店の3社がそれぞれの地域の老舗工務店を母体として、公共事業や民間工事での実績や高い技術力を活かし、当社グループの戸建住宅やマンション施工等、様々なシナジーを発揮しながら業容を拡大しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業収益の悪化による設備投資の先送りなどもあり請負工事の受注は苦戦しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は42億19百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は98百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、従来の不動産仲介、測量などを行う事業に加え、第1四半期連結会計期間より、戸建住宅事業に含めておりましたリフォーム事業を独立の事業としました。これは、今後のリフォーム事業の事業拡大を見越してセグメントの構成を変更したものでありますが、量的基準を満たしていないため、その他の事業としております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は6億28百万円（前年同期比69.4%増）、営業利益は64百万円（前年同期比49.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ53億81百万円増加し471億27百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加56億40百万円、受取手形・完成工事未収入金等の増加2億93百万円、現金預金の減少5億98百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ59億54百万円増加し230億7百万円となりました。主な要因は、短期借入金などの有利子負債の増加62億70百万円、支払手形・工事未払金等の減少2億24百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億73百万円減少し241億20百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円の計上、配当金の支払5億54百万円、自己株式の取得93百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2019年10月11日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響がおおむね明らかになりつつあり、また、現在においては戸建住宅事業の建売住宅の販売が本格化していることもあり、足元の受注動向を合わせて最終精査しております。業績の見通しが明らかになり、業績予想の修正が必要である場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,987,115	10,388,731
受取手形・完成工事未収入金等	1,351,164	1,644,217
販売用不動産	2,978,962	8,539,686
開発事業等支出金	19,393,856	18,252,637
未成工事支出金	1,916,739	3,130,466
材料貯蔵品	7,615	14,411
その他	883,420	764,213
貸倒引当金	△898	△2,703
流動資産合計	37,517,976	42,731,662
固定資産		
有形固定資産	2,740,490	2,842,428
無形固定資産	135,871	206,079
投資その他の資産		
投資有価証券	790,849	811,602
その他	562,157	535,999
貸倒引当金	△955	-
投資その他の資産合計	1,352,051	1,347,602
固定資産合計	4,228,414	4,396,110
資産合計	41,746,391	47,127,772
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,391,595	3,167,156
短期借入金	6,148,200	11,406,800
1年内返済予定の長期借入金	584,508	701,324
未払法人税等	118,418	101,983
未成工事受入金	666,543	694,190
賞与引当金	119,973	170,526
完成工事補償引当金	15,470	18,200
その他	1,012,371	837,203
流動負債合計	12,057,081	17,097,384
固定負債		
長期借入金	4,270,573	5,165,533
役員退職慰労引当金	114,576	-
退職給付に係る負債	247,761	248,715
その他	362,112	495,425
固定負債合計	4,995,023	5,909,673
負債合計	17,052,105	23,007,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,732,673	3,732,673
資本剰余金	2,984,589	2,982,029
利益剰余金	18,283,089	17,766,644
自己株式	△346,801	△412,479
株主資本合計	24,653,550	24,068,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,734	51,846
その他の包括利益累計額合計	40,734	51,846
純資産合計	24,694,285	24,120,714
負債純資産合計	41,746,391	47,127,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	23,894,219	24,518,256
売上原価	20,161,078	20,993,056
売上総利益	3,733,141	3,525,199
販売費及び一般管理費	3,513,272	3,599,306
営業利益又は営業損失(△)	219,869	△74,106
営業外収益		
受取利息	3,322	2,578
受取配当金	2,964	2,895
受取事務手数料	27,610	28,484
不動産取得税還付金	66,642	73,927
安全協力費	31,041	9,555
その他	74,968	144,533
営業外収益合計	206,550	261,974
営業外費用		
支払利息	36,840	64,324
その他	10,332	11,990
営業外費用合計	47,173	76,314
経常利益	379,246	111,553
特別利益		
固定資産売却益	-	32,742
投資有価証券売却益	67,291	-
受取保険金	44,423	-
特別利益合計	111,715	32,742
特別損失		
固定資産売却損	-	10
固定資産除却損	5,019	11,190
投資有価証券評価損	15,185	-
特別損失合計	20,205	11,201
税金等調整前四半期純利益	470,756	133,094
法人税等	168,997	95,006
四半期純利益	301,758	38,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,758	38,088

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	301,758	38,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,751	11,112
その他の包括利益合計	△47,751	11,112
四半期包括利益	254,007	49,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,007	49,200
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2019年11月27日開催の第30回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議しました。

これにより、第1四半期連結会計期間において「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めております。

3. (参考) 生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間における生産、受注及び販売の実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

①生産実績

	当第3四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	21,390,592	98.3
マンション事業	895,895	278.8
一般請負工事業	3,965,722	80.0
その他の事業	374,078	196.0
合計	26,626,287	97.8

②受注実績

受注高

	当第3四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	22,357,042	100.5
マンション事業	1,314,520	175.0
一般請負工事業	2,508,979	55.7
その他の事業	705,350	192.6
合計	26,885,892	96.5

受注残高

	当第3四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	13,436,113	93.9
マンション事業	713,619	95.0
一般請負工事業	1,572,443	54.2
その他の事業	199,376	83.6
合計	15,921,552	87.5

③販売実績

	当第3四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	19,069,358	100.3
マンション事業	600,901	168.1
一般請負工事業	4,219,507	101.6
その他の事業	628,489	169.4
合計	24,518,256	102.6